



令和5年度当初予算編成方針について

未来へ輝く 希望と信頼のまち こまつしま

(小松島市第6次総合計画テーマ)

◆令和4年度は、子育て世代に選ばれるまちをめざして「子育て世代応援プロジェクト」を始動！

◆令和5年度は、さらに多様な世代に向けてアプローチ！

- 「子育て世代応援プロジェクト」をさらに推進・拡大
- 世代を超え、だれもが「小松島市に住んでよかった」と思えるまちづくりを推進

優先的に取り組む4つの重点施策

子育て世代応援プロジェクトの推進・拡大

- 妊娠出産から子育てまでの切れ目ない支援
- 子育て世代のニーズやライフステージに応じた子育て支援



ライフステージに応じた健康づくり

- 「遊び」や「スポーツ」を通じた市民の健康づくりや生きがいづくりへの取組
- 検診や予防接種等をはじめとする健康課題への取組



DX化の推進

- 「デジタルの力」を活用した質の高い市民サービスの提供
- 行政事務の簡素化・効率化と職員の行動変容



環境にやさしいまちづくり

- 環境負荷の少ない有機農業の推進
- ごみ排出抑制やカーボンニュートラルによる循環型社会の実現への取組





1. 「小松島市子育て世代応援プロジェクト」の推進・拡大【3億1,346万円】

子育て世代の負担軽減【52,153千円】

★水稻農家と子どもたちのための地産地消推進事業【15,808千円】 ● (新)

⇒市内水稻農家より地元JAを介して新米を買い上げ、子育て世帯への無償提供を行うことで、経済的支援、地産地消による食育推進につなげます。

★学校給食費支援事業【10,000千円】 ● (新)

⇒学校給食費に関して補助を行い、保護者負担額の値上げを抑制することにより、子育て世帯への物価高騰の影響を軽減します。

★不妊・不育症治療費等助成事業【2,200千円】 ● (新)

⇒保険適用となった不妊や不育症の治療費等の自己負担額の一部を助成することで、子を望むご夫婦の経済面でのさらなる安心確保に取り組みます。

★使用済みおむつ処理助成制度【600千円】 ● (新)

⇒公立保育所等で施設内おむつ処理を実施するとともに、私立保育所等の処理経費の一部を補助し、保護者の方の負担軽減を図ります。

★結婚新生活支援助成制度【6,000千円】 (拡)

⇒新婚世帯の新生活に係る住宅取得費や賃借料、引越しに係る費用等の経費の一部を支援し、少子化対策・定住推進に取り組みます。

★民間住宅リフォーム事業【3,000千円】 (継)

★令和4年9月からの保育料最大20%程度の減額を継続 (継)

★子どもはぐくみ医療費助成事業（拡大分）【14,545千円】 (継)

子育て世代向けイベント等の開催【5,563千円】

★地方創生推進への取組【5,000千円】 (継)

⇒「楽しく、学ぶ」をテーマに、家族で楽しめる子育てイベントを開催します。

★消防あそび事業【563千円】 (継)

親子が安心できる空間づくり【138,440千円】

★ステーションパークの整備【125,625千円】 ● (新)

⇒親子が安心して遊べる空間としてステーションパークの改修設計、SL記念広場へのインクルーシブ遊具設置及び駐車場整備を行います。

★利用者支援事業【11,715千円】 ● (新)

⇒「無園児」とよばれるお子さんとそのご家庭を対象に、新たに開設する児童福祉センターと家庭総合支援拠点を連携させ、「孤育て」の解消に努めます。

★こどもの遊び場づくり事業【1,100千円】 (継)

子どもの教育環境の充実【109,708千円】

★新小学校施設整備事業【34,582千円】 ● (拡)

⇒新小松島小学校（仮称）の建設に向け、PPP（官民連携）手法に基づいた施設整備等に係る事業者選定のための諸手続きを進めます。

★小学校施設修繕費【74,008千円】 ● (継)

⇒小学校施設で老朽化が進んでいる箇所について、現在通学している子どもたちが安全に学校生活を過ごせるよう施設修繕を実施します。

★木育の推進【1,118千円】 ● (新)

⇒1歳6か月児健診受診者に県産材木製玩具を配付するとともに、小学生を対象として木育ツーリズムを実施することで、子どもたちの豊かな感性の醸成に努めます。

子育てと両立しやすい職場環境づくり【7,598千円】

★雇用対策の推進【7,598千円】 (継)

⇒子育てと仕事の両立を図るためのテレワーク普及促進や、新たな雇用創出のための企業誘致等に取り組みます。



2. ライフステージに応じた健康づくり【1億5,110万円】

運動を通じた健康づくり【34,882千円】

★本港地区活性化事業【23,000千円】 ● (拡)

⇒本港地区において、「小松島みなと交流センターkocolo」を屋内子ども遊戯施設としてリニューアルするとともに、新たに地域交流施設（プール等複合施設）を整備します。令和5年度は地域連携交流施設整備の基本計画を策定するとともに、両施設の官民連携による整備を視野に入れた「PPP/PFI手法」の導入可能性調査に取り組みます。



イメージ写真（屋内プール）



イメージ写真（秩父別町キッズスクエア ちっくる）

★小松島「逆風」ハーフマラソン大会開催に向けた取組

【9,000千円】 (継)

⇒昨年好評に終わった小松島「逆風」ハーフマラソン大会を引き続き開催するための準備を進めます。

★免疫力向上事業【2,882千円】 ● (継)

⇒本年度開発したお散歩アプリ「こまポンウォーク」を活用し、歩数や散歩コースの達成などに応じてポイントを付与し、市内登録店舗で利用可能なクーポンと交換できるようにします。

がん検診の取組【17,679千円】

★若年者に対する胃がん予防対策事業【434千円】 (継)

★がん検診事業【14,887千円】 (継)

★がん検診推進事業【2,358千円】 (継)

⇒胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診を実施し、がんの早期発見を図ります。

定期予防接種の取組【94,843千円】

★定期予防接種等事業【94,843千円】 (継)

⇒乳幼児や高齢者をはじめ、定期予防接種の実施により感染のおそれのある疾病の発生及び重症化の予防を図ります。

「おしゃれまち」こまつしまの推進【1,500千円】

◇若者・子育て・ミドルエイジ世代対象

★「新社会人」のおしゃれ講座の開催 (新)

⇒市内在住の高校3年生を対象に社会人の身だしなみ・メイクアップの基本を学ぶ「フレッシュアーズ講座」を開催します。

★「子育てママ」のおしゃれ講座の開催 (新)

⇒市内在住の子育てママを対象に、忙しいときでも時短でメイクアップ術を学ぶ「時短ビューティー講座」を開催します。

◇シニア対象

★「いきいき美容・健口教室」の開催 (新)

⇒市内在住シニアを対象に「フレイル（身体の衰え）」と「オーラルフレイル（お口の衰え）」の予防に向けた教室を開催します。

★「こまつしま・ナイスシニアフェスティバル（仮称）」の開催 (新)

⇒市内在住シニアを対象に、「健康・美容の祭典」を開催し、シニア世代のフレイル予防と交流促進につなげます。

※上記以外にもイベントの開催を計画しています。

官民共創で取り組む地域課題【2,200千円】※特別会計

◆脳トレアプリを活用した認知症予防【2,200千円】 (新)

⇒地域の課題に対して民間企業から解決策の提案を受けるという「ガバメントピッチ」に応募し、四国地区で唯一採択されました。これにより、脳トレアプリを導入し、官民共創で認知症予防に取り組みます。



3. DX（デジタルトランスフォーメーション）化の推進【8,717万円】

「市民サービス」のDX【13,950千円】

★コンビニ交付サービス導入事業【13,854千円】● (新)

⇒マイナンバーカードを利用することで、コンビニエンスストア等で「いつでも・どこでも・すぐに」住民票と印鑑登録証明書を受け取ることができるサービスを実施します。

★スマホ体験教室の開催【96千円】(新)

⇒「誰一人取り残さない『人にやさしいデジタル社会』を実現する取り組み」として、高齢者の方を対象にスマホ体験教室を開催します。

◆小松島市公式LINE®アカウントによる情報発信(新)

⇒行政情報やイベント情報、災害時の緊急情報など、市民の役に立つ様々な情報を発信します。

「行政運営」のDX【37,591千円】

★道路管理システム導入【30,869千円】● (新)

⇒道路台帳のデジタル化に伴い、GIS（地理情報システム）の活用による路線情報や位置情報も紐づいた一体的管理型のシステムを導入するとともに、これをHP上に公開することにより市民・事業者等の利便性向上を図ります。

★内部情報システム導入【3,417千円】(新)

⇒勤怠管理等を総合的に管理するシステムを導入し、業務の効率化を図ることで効率的な行政運営につなげます。

★ビジネスチャットツールの活用【2,315千円】(新)

⇒高度なセキュリティを保持したビジネスチャットツールにより情報共有の迅速化と業務効率化を図ります。

★業務改善支援ツールの活用【990千円】(新)

⇒他の市町村と各所管業務を共有し、業務手順と所要時間を「見える化」することにより業務改善につなげます。

「まちづくり」のDX【35,638千円】

★AIドリル導入推進事業【13,290千円】● (新)

⇒児童生徒それぞれの理解度やつまづきを解析、必要な学習課題を出題する「AI型ドリル」を市内小中学校に導入するとともに、校内のWi-Fi環境を増設し、様々な場所で児童生徒の興味関心の幅を広げる学習が実施できる環境を整備します。

★学校給食管理システム導入【1,268千円】● (新)

⇒献立作成、食物アレルギーへの対応等、給食管理業務を総合管理できる学校給食献立ソフトを導入し、業務の効率化を図ります。

★インターネット環境維持事業【13,058千円】(継)

⇒児童生徒がICT端末を活用した学習を支援するため、ICT支援員を配置し、学校のインターネット環境を維持します。

★リスクリング支援【5,000千円】(新)

⇒デジタルスキルの習得を目指した市民向けリスクリング研修等を実施し、テレワーク等の多様な働き方を支援します。

★被災者生活再建支援システム導入【1,277千円】● (新)

⇒平時から発災時の業務までトータルに支援するクラウド型被災者支援システムを導入し、地震や水害等で被災した際の市民の生活再建を迅速・効率的に支援します。

★備蓄品管理サービス導入【139千円】● (新)

⇒各避難所等の在庫情報をリアルタイムに近い形で把握し、備蓄物資の効率的な調達・供給体制を構築することにより、「万が一」に備えます。

★粗大ごみ受付管理システム導入【1,606千円】● (新)

⇒申込手続きをオンライン化し、ネット予約をはじめとする「いつでもどこでも」申込手続きができる体制を整備します。



4. 環境にやさしいまちづくり【8,371万円】

脱炭素社会への取組【50,484千円】

★地球温暖化対策実行計画改訂事業【2,860千円】●(新)

⇒温室効果ガスの排出抑制と環境負荷の低減を図るため、地方公共団体の対策計画となる「小松島市地球温暖化対策実行計画」を改訂します。

★多目的ホール観覧席通路灯LED化【2,281千円】(新)

⇒多目的ホールの電動式移動観覧席の通路灯をLED化し、環境負荷の低減を図ります。

★し尿処理一部事務組合負担金【27,765千円】(施設のLED化に伴う施設整備分を抜粋) (継)

⇒構成団体で運営費を分担している小松島市外三町村衛生組合について、施設のLED化を行います。

★体育館照明LED化改修費【6,600千円】(継)

⇒小学校11校の体育館照明のLED化を順次行います。

★街路灯のLED化の推進【10,978千円】(継)

⇒市内街路灯のLED化を行っております。

水質汚濁防止の取組【14,092千円】

★合併処理浄化槽設置補助事業【12,796千円】(拡)

⇒生活排水による河川などの水質汚濁を防止するため、令和5年度より高度処理型合併浄化槽への転換に対しての補助金を増額します。

★南小松島駅トイレ全面リニューアル【1,296千円】●(新)

⇒老朽化している南小松島駅トイレを全面的にリニューアルするため、令和5年度に設計を行います。リニューアルに伴い、現在汲み取り式となっているトイレを合併浄化槽へ転換し、環境や利用者にとって優しいトイレを整備します。

ごみの削減【2,332千円】

★生ごみ分解型処理容器普及啓発【1,809千円】(継)

⇒生ごみの減量に資するため、引き続き実践講座などを通じて生ごみ分解型処理容器の普及を図ります。

★生ごみ水切り用品を市民へ配布【259千円】●(新)

⇒約80%が水分と言われている生ごみの水切りを促進するため、グッズを配布し水切りへの協力をお願いすることでごみの減量化につなげます。

★ごみ分別アプリの普及促進【264千円】(新)

⇒2月にリリースした「こまつしまごみ分別アプリ」の普及促進を図り、ごみのリサイクルを進めます。

オーガニックビレッジ宣言にかかる取組【6,807千円】

★環境保全型農業直接支払事業【4,773千円】(継)

⇒自然環境の保全に資する農業生産方式を導入した農業生産活動を推進するため、生産者に対して実施に伴う追加コストを支援します。

★生物多様性農業推進事業【2,034千円】(継)

⇒新たに有機農業に取り組む農業者等への土づくり、病虫害防除などの研修を実施するとともに、市内製造業者と高性能廃菌床堆肥の開発に向けた研究を行います。また、無農薬認証米の知名度向上及び国際水準到達のためのブランディングを行います。

環境的に持続可能な交通【10,000千円】

★地域公共交通活性化協議会負担金【10,000千円】●(新)

⇒公共交通空白地帯を解消し、公共交通機関の利用を促進し自家用自動車に過度に依存しないなど、環境的に持続可能な交通の実現を目指し、利用者のニーズに対して柔軟に運行する新しい交通モード「デマンド交通」の試験的導入を図ります。

脳トレアプリを活用した 認知症予防事業

介護保険特別会計

令和5年度当初 **2,200**千円

▶実施に至った背景・課題

- 背景**
 - 令和4(2022)年高齢化率35.7%→令和19(2037)年高齢化率43.6%に
 - 介護サービスの需要が増え、支え手の不足は深刻化
- 課題**
 - 健康に無関心な高齢者はフレイル、認知症などのリスクが高まる
 - 介護予防教室や健康づくり等イベントは参加者が固定化
- 実施の方向性**
 - 市や地域が主催している取り組みに参加したくなる行動変容につながる仕組みをつくる

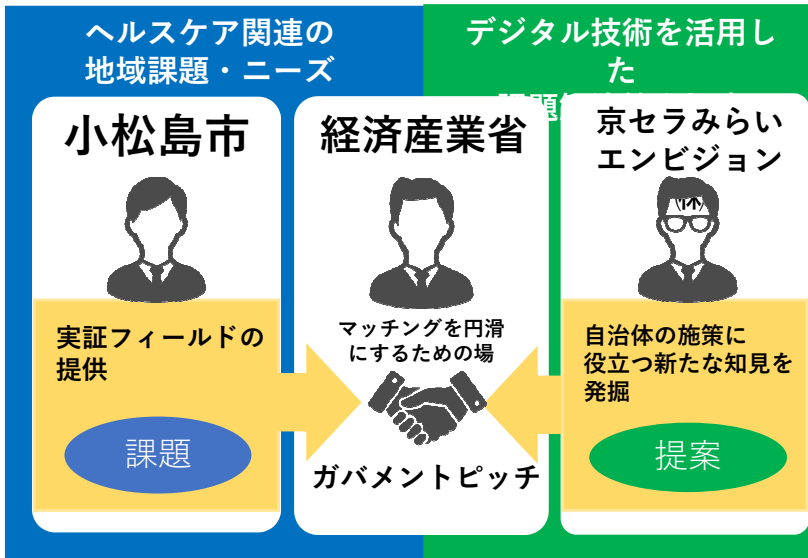
▶目指す理想

スマートフォン等の活用をきっかけに、高齢者のデジタルリテラシーを向上し、心も体も健康で社会や人とつながり、いろいろなことに意欲を持てるアクティブシニアの創出

▶具体的な取り組み

▼ガバメントピッチ(経済産業省主催)

自治体×ヘルスケアベンチャー課題解決モデル事業



「京セラみらいエンビジョン(株)」が提供する脳トレアプリケーションを活用した実証実験

ゲーム感覚で取り組めるトレーニングを実施

神経内科専門医と共同開発したAIで、5つの領域毎に結果を分析

記憶
言語
認知
思考
注意

これら5つの領域からアプローチ

50のトレーニングからユーザー毎により効果的なメニューを作成

認知症予防・早期発見を目的にAIデータを活用した脳トレアプリケーションを試験的に導入する。

- ・ 広告表示や課金誘導等を排除したアプリで、ゲーム感覚で気軽に脳トレを継続できる。
- ・ トレーニング結果を可視化し、認知症へのリスクを実感してもらうことで健康意識の向上を図る。
- ・ 認知症予防はフレイル予防にもつながることを意識醸成してもらい、利用者に対して通いの場等への参加を促す。
- ・ アプリをきっかけにスマートフォンを活用した情報の取得、便利なサービスを利用するデジタルリテラシーが向上。